

2018年度 協豊会関西地区 分科会活動

2018年度 協豊会関西地区 研修見学会を開催しました

協豊会関西地区研修見学分科会では、会員の研修と親睦を図る事を目的に、毎年研修見学会を開催しております。2018年度は、「地域社会への貢献」をコンセプトに、7月27日（金）～28日（土）の2日間、新潟県で地域に根ざした町いちばんの企業を中心に研修見学会を実施しました。

1番目の研修先は、越後味噌醸造株式会社（新潟県燕市）を訪問しました。1771年酒蔵として歴史を歩み始め、1931年の



味噌・醤油を製造する「越後味噌醤油研究所」へと姿を変え、1960年「越後味噌醤油株式会社」の設立を経て、現在の味噌・味噌漬の醸造蔵へと繋がっています。

現在でも、職人が手間暇をかけて100年以上前に作られた「木桶」に仕込む製法で、越後味噌醸造の味・文化・伝統を後世へと醸し続けています。



【100年以上前に作られた木桶】



【越後味噌醸造での集合写真】

2番目の研修先は、新潟県最大級の福祉施設展示場ウィルアシスト（新潟県燕市）を訪問しました。

ウィルアシストは、1995年創業の株式会社青芳（あおよし）が、2009年に福祉用具貸与事業・福祉用具販売事業の開始を機に、開設されました。



【ウィルアシスト展示場の全景】

ウィルアシストでは、様々な福祉用品を実際に見て、触って、確かめた上で購入やレンタルすることができる、体験型の施設です。専門の相談員による介護・福祉に関する勉強会や研修会なども開催されている総合施設となっています。

### 【Willassist の由来】

助けたい。手伝いたい。少子高齢化社会において、手助けを必要とする人に対し必要な道具、商品開発、製造し、また探し出し提案提供していくことで、地域社会に貢献していく。



【施設内での福祉用品体験】

3 番目の研修先は、株式会社諏訪田製作所（新潟県三条市）を訪問しました。諏訪田製作所は、1926 年（大正 15 年）に世界有数の刃物の産地である新潟県三条市で創業し、「ニッパ-型つめ切り」を中心に生産されています。材料選びから完成まで一貫して製造されており、しかも、商品のデザインや開発も職人の方が担当され、手づくりでこだわったものづくりを見学することが出来ました。



【諏訪田製作所代表製品：ニッパ-型つめ切り】



【工場内の様子：職人による手づくり】



【諏訪田製作所での集合写真】

この度の研修見学を通して、新潟県に根ざした町いちばんの企業を中心に訪問し、地元の得意産業を基に手づくりにこだわったものづくりや技術、また後世へ承継しなければならぬとの情熱を体験することができました。

今回の訪問先は、自社の商品や施設等を通して地域社会へ貢献されており、会員各社もこの度の研修見学で得た知見を基に、改めて地域社会への貢献に向けた活動の一助にしたいとの想いを強くしました。

協豊会関西地区は更に「One Team」として結束し、活動方針に則った企画を運営していきます。